

主の恵

2013年3月2日

ヨハネの福音書7:32–39

適応のための質問：

- (1) 未信者が物事を理解できないことと、心を頑なにすることには、どのような関連があるでしょうか。同じことが信者に起こる時、どのような点において類似し、異なるでしょうか。実生活において、これらはどのように現れるでしょうか。このような時、私たちはどのように対応するべきでしょうか。How do we see hardness of heart relating to inability to understand in unbelievers? What is similar and different for believers? What are specific ways we can see these things in our lives, and how should we respond?
- (2) 今日の信者、また未信者は、イエスが地上におられた時に周りにいた人々とどのように類似、または異なった状況に置かれているでしょうか。これは私たちが未信者に接することにどのような影響を与えるでしょうか。また今日、イエスが肉体的に私たちと共におられないことは、実践的に何を意味するでしょうか。How is the situation of believers and unbelievers now like and unlike those with Jesus when He was on earth? How does this affect how we relate to unbelievers, and what does Jesus' physical absence mean for us practically now?
- (3) この箇所で、イエスのどのような性質を見、イエスに賛美を捧げができるでしょうか。私たちの日常生活、また人間関係において、イエスの性質からどのようなことを実践的に適応することができるでしょうか。What can we see about Jesus' character in these verses that we can praise Him for? What are practical implications for each of these things about His character in daily life and our relationships with others?
- (4) ヨハネ 7 章 37—39 節の背景として、重要な旧約聖書の箇所はイザヤ 12 章 1—5 節、また 55 章 1—5 節です。これらの箇所は、ヨハネ 7 章 37—39 節を理解する為にどのような助けとなるでしょうか。また、私たちが救いと信者に内在する御靈について覚える時、どのようなことを教えてくれるでしょうか。Two significant OT passages in the background of 7:37–39 are Isaiah 12:1–5 and 55:1–5. What do these passages show which helps in understanding 7:37–39, and what are the implications for how we understand salvation and the Holy Spirit in believers?
- (5) ヨハネ 13 章 36 節と 14 章 2—3 節について考えてみましょう。これらの箇所は、今日、私たちの見解にどのような影響を与えるでしょうか。これらの箇所から、私たちの思いや行動は、どのように肯定的に変えられるでしょうか。将来、イエスと共にいれることに希望を抱く時、今日の私たちにどのような希望があるでしょうか。Consider John 13:36 and 14:2–3. How can these verses affect our perspective now? What are some in which our thoughts or actions can be positively changed by what these verses say? How does looking forward to being with Jesus in the future help us now?